

令和 8 年度 しいの実ハウス 地域連携推進会議 議事録

日時	令和 8 年 6 月 16 日 (火) 10:00～:11:30	場所	しいの実ハウス
出席者	おおい町いきいき福祉課ご担当者様、中区民生委員様、利用者家族様、利用者様、所長、主任、支援員	司会	支援員
		議事録	支援員

1. 挨拶 所長

2. 施設見学 所長が施設内ご案内と説明を行う。

3. 自己紹介 上記、出席者のとおり

4. 議題

主任兼グループホームしいの実ハウス管理責任者より

- ① 地域連携推進会議についての説明 ②施設概要説明 ③利用者の日常生活の様子への報告
④運営状況 ⑤意見交換

① 地域連携推進会議についての説明

開催：2024 年の法改正で義務化。2025 年 4 月より年 1 回以上完全義務化。

対象：障害者支援施設、グループホーム、事業所単位。

期待される効果：利用者、法人職員が地域行事に参加しやすくなる。地域の方に施設見学や運営状況を知らせてもらう事で透明性向上につながりサービスの改善が促進され、地域との信頼関係が構築する事で事業も円滑化する目的で会議を開催している。

② 施設概要説明

説明：2021 年 7 月社会福祉法人つぐみ福祉会に改名。県内に 7 ヶ所事業所の紹介、バックアップ施設として小浜事業所の施設概要。同じ建物 2 階に今年度から放課後デイサービス「若芽」の新設事業開始報告。名田庄作業所の施設概要など。

施設説明

施設名：社会福祉法人 つぐみ福祉会 しいの実ハウス（共同生活援助）

設立 2012 年、定員 7 名（現員男性 4 名・女性 1 名）木造 2 階建て 2 棟繋ぎ。居室 7 部屋（個室）

共有スペース：食堂、浴場洗面洗濯脱衣場、スタッフルーム。

寮費

施設使用料：月/22,000（家賃補助 10,000 円を引いた金額）

光熱費：6,000 円～12,000 円（年間平均 11,500 円）

食事代実費：1 食/朝 250 円、昼 650 円、夕 700 円）

※週 3 回の土、日帰省される方の寮費：平均月/56,500 円

寮生の状況：障害区分 4～6、療育手帳 A1、障害年金 1 級～2 級、疾病てんかん 4 名、ダウン症 1 名、てんかん 4 名中（身体 1 種 1 級、身体 1 種 2 級）後見人選任済み 1 名

職員体制：管理者 1 名、サービス管理者 1 名、生活支援員 3 名、世話人 3 名

防災、防犯設備

装置：スプリンクラー、自動火災警報装置、火災受診盤、消防機関への通報装置、消火器

設備：防火カーテン、センサーライト、防犯カメラ、防災リュック、防災マップ

安全対策：各部屋のタンスに転倒防止板の設置、食堂棚転倒防止伸縮棒、耐震ロック設置

③ 利用者の日常生活の様子

一日の流れ

利用者：6時30分起床、着替え、洗面、検温、体調確認、朝食。7時30分服薬、歯磨き。

部屋掃除、準備。9時15分施設送迎で日中施設へ。15時30分施設送迎で帰寮。

16時入浴、洗濯、おやつ等。18時夕食、服薬。19時歯磨き、団らん。21時服薬、トイレ、就寝

※世話人、宿直者は利用者への声かけや、食事着替え介助、服薬確認、夜間巡回、日報記録等行う。

余暇と行事

毎月1回土日稼働、誕生会、ウォーキング、クッキング、お花見、バーベキュー、クリスマス会
地域との関り

コロナ以前より名田庄小学校4年生、6年生との交流。地域の方をお迎えしてお茶会。鉢植え。

赤い羽根共同募金活動、いきいき館内掃除（週3回）、バス停掃除を実施

記録：宿直者、世話人が宿直日誌、支援日報を記入。

支援会議：毎月世話人、支援員、看護師が集まり支援方法など検討し共有。

支援計画：保護者様、本人と個別面談を行い計画に対してのモニタリング結果を話し合い、
結果を元にサビ管と支援員が計画を立てている。

④ 運営状況

所長より：支援力向上の取り組み（各種研修会に参加等）

虐待防止の取り組み（法人内虐待防止研修年1回等）

身体拘束等適正化の取り組み（身体拘束等適正化研修年1回等）

苦情について

苦情解決委員会（毎月）

しいの実ハウスでは昨年6月から今年5月まで2件苦情あり。

事故、ヒヤリハット

夜間（夜中）でのヒヤリハット1件。服薬でのヒヤリハット1件あり。

訓練

火災避難訓練年間2回、地震ミサイル年間1回、不審者対応訓練年間1回、水害土砂年間1回
原子力年間1回 ※過去いきいき館へ徒歩で避難する訓練も行った。

BCP 感染症対策の取り組み

業務継続計画の策定。感染症対策委員会、研修、訓練の実地。

障害について

知的障害、身体障害、強度行動障害の基本理解。

⑤ 意見交換

所長から

今回の会議で情報共有・意見交換を行い職員や利用者との関係づくりや事業所環境、事業運営状況を確認いただきました。外部の目を入れることで閉鎖的になりがちな環境を改善し利用者にとって質の高い支援を受け、地域での運営をしやすくしていきたいので沢山のご意見を頂きたい。

民生委員様

区長をしている時でもしいの実ハウスの存在を知っていたが、あまり繋がりが無かった。

災害時の対応として中区でも防災訓練を行っているので来月 7 月 19 日午前 8 時から自治会館で炊き出しのデモンストレーションを行う予定なので、こういう機会に法人職員も参加されてみてはどうか。地区と法人の連絡網を作ってみてはどうか。花植えなど行事に参加できないか。

保護者様

しいの実ハウスに寄りにくいイメージがある。近隣とのコミュニケーションも少ない状況。

過去しいの実ハウスから中区バス停まで歩き、その行く道中に住民と出会いバス乗車中などは運転手と出会い利用者の様子など伺えた。そういったことを日常として取り入れて行けないか。

おおい町福祉課職員様

区の中にグループホームがあるのは珍しく障害福祉としてとても良い。

所長から

本日、皆さまからいただいたご意見を所内で検討し、実施できることは反映して今後の事業運営に活かしていく。

今後の開催について

年 1 回以上開催の為、来年度の同時期を予定とする。

しいの実ハウス食堂での地域連携推進会議



しいの実ハウス外観説明

